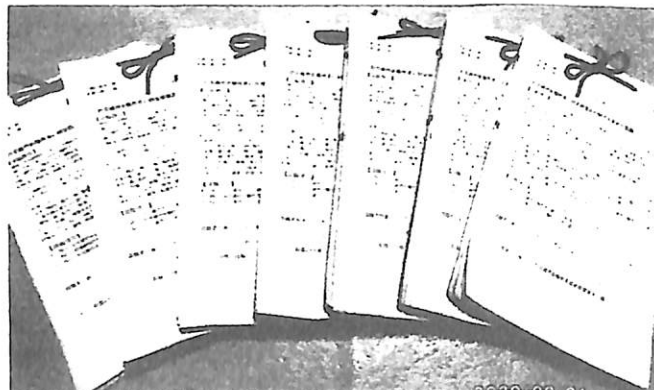




緊急宣言延長で塩出さんの派遣は断念

過去最高の署名を中央本部へ

今年の国会請願は、5月12日、中央本部と首都圏の代表によって実施されました。

熊本県同盟からも塩出美子さん（菊池市）を派遣する予定でしたが、東京の緊急事態宣言の延長に加え、熊本でも蔓延防止等重点措置の適用が申請され、県境をこえた移動の自粛が求められるなどコロナ情勢が急速に悪化したため、塩出さんの参加は断念しました。

前号で塩出さんの国会請願派遣カンパをお願いし、早速多くのみなさんから多額のカンパを寄せていただきましたこと、心から感謝いたします。しかし前述の事情により派遣を中止しましたの



熊本県版

No. 229

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

熊本県本部

〒862-0954

熊本市中央区神水

1-30-7 コモン神水

☎096-381-1807

運動の基本

- 一、ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
- 二、治安維持法体制の復活に反対する。
- 三、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であることを認めること。
- 四、国は、治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償を行うこと。

で、寄せられたカンパについては返却を含めて個別にご相談したいと思います。

また、今年の国会請願署名はコロナ禍の中、さまざまな活動が制約され、全国的に10万筆前後にとどまるというかつてない苦戦を強いられました。

しかし熊本県同盟は、様々な困難を乗り越え、過去最高の3,656筆の署名を集めることができました。コロナ禍の中でなぜ、これだけの署名を集めることができたのか。

同盟員拡大が力に

それは第一に、最近入会した新しい同盟員が大きな力を発揮した結果です。熊本県同盟はここ数年で同盟員拡大が大きく前進しました。そうした新しい同盟員のみならず、コソコソと周りの友人、知人に訴えて、5筆、10筆、なかには60筆、80筆と集めて県本部に送っていただきました。もちろんベテランのみならずからも署名が送られてきました。

大きな集会や会議などがほとんど中止される中で、署名が前進した最大の要因はそうした同盟員一人一人のみなさんの地道な活動があったからにほかなりません。

建築労組など協力団体の力

第二には、建築労組、民医連、



治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟
の国会請願署名
署名1,635筆とカンパ27,762円
87の団体署名をお渡ししました。
(写真 左から 関根さん、小田さん
木村委員長)

熊本県建築労働組合の機関紙「熊建労」に掲載

建交労、県商連、新婦人、原水協など友好協力団体のみなさんのかつてない協力です。とくに建築労組のみなさんからは、例年を大きく上回る1,722筆の署名が寄せられました。綴じられた分厚い署名簿が、建築労組県本部執行委員会の会議冒頭、木村正委員長から小田憲郎国賠同盟県本部会長に手渡され、激励されたことは、国賠同盟と建築労組の協力に新しい境地をきりひらいたものとして画期的な出来事でした。

県本部ではこうして集められた3,656筆の署名を中央本部に送り、国会請願に活用してもらいました。

同盟員のみなさんと、友好協力団体のみなさんに心から感謝したいと思います。

団体署名協力団体一覧

今年度は126団体になりました。例年快く書いていただいた友好団体も担当者にお会いできず、もれてしまいました。その中には個人署名をたくさん集めていただいた団体もあります。建交労熊本県本部、熊本民商さんがそれにあたります。ここに団体名を掲載し、感謝と連帯の気持ちを表します。

政党関係	日本共産党熊本県委員会	民主団体	健康共同ファルマ・他4薬局
法曹関係	自由法曹団熊本支部	熊本地区委員会	熊本市生活と健康を守る会
	熊本中央法律事務所		新日本婦人の会宇城支部
	菜の花法律事務所		天草支部
	青年法律家協会熊本支部		菊池支部
商工団体	熊本県商工団体連合会		八代支部
医療関係	県商連共済会		田添鉄二顕彰会
	社会医療法人芳和会		日本民主主義文学会熊本支部
			熊本県モチベーションセンター
			治安維持法犠牲者国賠同盟熊本県本部

労働組合

熊本県労働組合総連合
熊本県医療福祉労働組合
熊本県医療介護福祉労働組合

熊本県建築労働組合県本部

西部支部・他10分会
東部支部・他11支部
宇城支部・他4分会
阿蘇支部・他3分会
水俣芦北支部・他6分会
城北支部・他10分会
天草支部・他8分会
人吉球磨支部・他8分会
菊鹿支部・他6分会
八代支部・他10分会

治安維持法犠牲者国賠同盟熊本県本部

ありがとうございます。

今後もしよろしく願います。

さらなる飛躍をめざして

新しい支部づくりすすむ

長年100人前後の会員数で推移してきた熊本県同盟は2016年7月の人吉球磨支部結成をきっかけに前進に転じ、前回大会時(2019年6月)には172人という史上最高の峰を築き、ひきつづき着実に前進を続け、5月1日現在、179人になっています。

ただ、この2年間は微増にとどまり、目標の「200人の県同盟」建設には成功していません。

そこで県本部では、新たな飛躍を作り出すためには地域に密着した組織づくりが欠かせないと議論し、新たな支部づくりに挑戦することにしました。それは今、中央本部が提起している「総選挙勝利、同盟活動躍進期間」の中心課題でもあります。

菊池・山鹿地域

菊池、山鹿、合志地域には現在、菊池市7人、合志市3人、山鹿市2人の12人の同盟員がいます。そのほとんどがこの2、3年のうちに入会した人たちです。個々には国会請願署名に積極的に取り組んでいる同盟員もいますが国賠同盟としての組織的運

動はありません。

そこで4月9日、県本部から小田会長、関根事務局長が菊池市の共同経理事務所の荒尾寿味雄、田中芳幸両税理士を訪ね、同地域での支部づくりについて相談しました。両氏とも提起を積極的を受け止め、まずはDVD『種まく人びと』や『伊藤千代子』(藤田廣登氏講演記録)の視聴会などを計画してみなさんに集まってもらい、支部結成の相談をすることになりました。

天草・上天草地域

小田会長、関根事務局長はつづいて5月13日、天草市の中山健二、緒方徹治両氏を訪ね、天草・上天草地域での支部づくりについて相談しました。現在、天草市に8人、上天草市に2人の10人の同盟員がいます。うち2人は古くからの同盟員ですが他はここ数年で加入した人たちです。両氏とも県本部の提起に真正面から応え、当面、映画『伊藤千代子の生涯』の製作・上映運動に大々的に取り組み、その運動と並行して国賠同盟の支部を一気につくることを確認しました。

天草地区はもともと文化運動が盛んな地域です。2人は映画『伊藤千代子の生涯』についても、熊本市まで観に行くのは大変だから上映債券(10万円)を確保して天草で上映したい、天草にはその力は十分ある、と意気込んでいました。

寄稿文

エスペ란ティストと治安維持法

会員 畠田ミツ子

退職後、エスペ란ティストの学習を再開してから、歴史上のいろいろな人に興味を湧き、講演会に参加したり資料を読んだりしています。この間、関心を持った数人を自分の勉強の為にまとめてみました。先輩諸氏のご指導を宜しくお願い致します。

肥後の猛婦、矢島楯子

2014年3月、年金者組合の皆さんと益城の「四賢婦人記念館」を訪問し、「矢島楯子」について学習。更に4月には、熊本近代史研究会で学園大の米岡ジュリ先生の「英字新聞でみる矢島楯子女史」の講演を聞きました。

楯子は教師でしたが、女子学院の創立や「日本基督教婦人矯風会」総理を務め、73歳、87歳、88歳という高齢で3回も渡米するという驚きの経歴を持っています。彼女は治安維持法には関係がないのですが、桜井女学校では生徒の一人に山田耕作の姉、山田恒がいて、この恒が後に結婚した相手、イギリス出身の語学

者のエドワード・ガントレット(日本に帰化)も、山口県でエスペ란ティストの普及に努め、大きな足跡を残しました。

反戦放送に従事した長谷川テル

長谷川テル(1912~1947)は山梨県出身で、東京府立第3高等女学校を経て1932年に奈良女子高等師範学校に入学。20歳の頃にエスペ란ティストを学び、奈良県の文化団体・労組・農民運動ともエスペ란ティストを介して交流。その年の9月に、治安維持法違反容疑で検挙され退学。1933年には小林多喜二の「蟹工船」をエスペ란ティストに訳し、上海のエスペ란ティスト協会誌「ラ・モンド」に「日本婦人の状況」を寄稿。

24歳でエスペ란ティストを通して交際を深めた東京高等師範学校中国人留学生、劉仁と結婚。1937年に彼女は日本の中国全土への侵略拡大を憂い帰国した夫を追って、上海で劉仁と合流。エスペ란ティスト誌「中国は吠える」で反戦執筆活動に入ります。同年12月、日本軍南京大虐殺、夫妻は広東に脱出。1938年、長谷川テルは国外追放の身となり、エスペ란ティストの援助で武漢へ。その年、6月から長谷川テルの反戦放送が開始。

大変な困難が想像される日中戦争のさなかに、現地の放送局から日本兵士に反戦を訴え続けるという事は本当に崇高で勇気の

ある行為であったと思いました。

24歳で逝った伊藤千代子

2020年2月、人吉市であった「早春・文化の集い」で、労働者教育協会理事・治安維持法同盟の藤田廣登さんの「多喜二と伊藤千代子 時代が結んだ青春」という講演を聞きました。アララギ派の歌人、土屋文明が「ころざしつたふれし少女よ」と謳い、24歳という若さで治安維持法の犠牲者となった伊藤千代子（1905～1929）のことを知り、「治安維持法犠牲者」という言葉が強く心に残りました。

（千代子の生涯については書籍も出ており、今度、映画化されるので、割愛）

千代子はエスペランティストではありませんでしたが、その関連で出会ったのが梶原定義編著「地下水、その噴き出するを願って―熊本政治維持法犠牲者、その名簿と足跡」でした。熊本にも多くのエスペランティストがいて、全国でも、多くの方が治安維持法の犠牲になっておられる事を知りました。以下、その本を読んだ……

伊東三郎とは宮崎巖のことだった！

私の手元にある「エスペラントの父 ザメンホフ」の著者、「伊東三郎」の名前が「宮崎巖」の項目で出て来てびっくりしました。

なぜ、彼が熊本に？と思いました。そのまま読み進み「宮崎公子」

の箇所を納得。その本に、「熊本はエスペラント運動が盛んなどころでもあった。徳富蘆花が早くからエスペラントに関心を寄せ

ていたことが知られるが、何と言ってもその功績は宮崎巖（もと磯崎巖、ペンネーム伊東三郎）にあった。」とあります。

彼は岡山県の富裕な家庭、磯崎家の出身で、1915年、岡山中学生の頃、叔父さんの影響でエスペラントに傾倒。4年生の時に横須賀エスペラント会に入会。1921年青山学院に入学。青山学院のエスペラント会の発展に寄与。

しかし、中退して1922年に大阪外語仏語科に入学。エスペラント会と社研を組織。社研の活動が活発になり、大学から追放される。「マルクス主義の三つの源泉と三つの構成要素」をエスペラント語で発行。のち、上京して熊本出身の宮崎公子と知り合い1931年に結婚。

1932年に治安維持法違反容疑で検挙され、1936年出所。1938年健康を害し熊本市新屋敷へ転居。1939年9月12日、全国のエスペランティストと共に治安維持法違反容疑で検挙。翌年4月起訴猶予で釈放。思想犯保護観察所の紹介で熊本市役所

請願署名運動新たに開始します

集めていただいた署名は5月12日に国会に提出しました。これまでをみれば今年も、自公政権によって審議未了、握りつぶされることとされます。

国会請願は第2の参政権と言われます。国政選挙と同様に国会請願行動は国民の政治参加を促す重要な活動です。

改めて、来年の5月国会請願に向けて署名運動を開始します。前回ご協力いただいた方にも、国会請願の趣旨を語り、再び署名をお願いしてください。（審議未了になると、提出した請願署名は無効となります。初めから集めなければなりません。）

県同盟は一人20筆を目標にしています。「不屈」の精神で、ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために、何度でも私たちの請願が叶うまで請願署名運動を続けようではありませんか。

毎月『不屈』に署名用紙と返信用封筒を同封しています。署名用紙や宣伝物など問い合わせただけで、可能な限り要請にお答えします。

返信用封筒に署名と一緒にご意見、ご要望、『不屈』への投稿も大歓迎です。

問い合わせ：090・1366・5004（関根）

の囑託として本荘隣保館の仕事をするが、9月南署に検挙されて東京に移送。巢鴨刑務所に拘留。1942年に釈放。のち栄養失調で岡山の自宅に一時、身を寄せ熊本へ帰郷し、療養。敗戦後、エスペラント関連の著作に力を入れ、1969年には第52回世界エスペラント大会（渡欧）に出席。69年氷川セツルメント病院に入院。3月7日に死去。遺体は熊本県の宮崎家の墓地に埋葬。

妻の公子は0歳の時から三井物産に勤めていた父とともに小学5年まで満州で過ごし、父の所に来ていた大学生からエスペラントの本を見せられ、「これを勉強したらこの国の人も話が出来る」と言われ興味を持つ。当時、中国人やロシア人の子とも遊ぶことを禁じられていたことに疑問を持っていたという。

今回は紙面の都合で、ここでペンを置かせて頂きますが、この本には、まだ加藤孝一や中垣虎児郎、本田正男等のエスペランティストや多くの重要な人々の事が書かれています。学ばば学ばばど興味が湧き、まさに「地下水、その噴き出する」状態です。

この本を書かれた梶原様に、心から感謝を捧げます。

書籍紹介

『治安維持法と現代』41号好評発売中！

『治安維持法と現代』は年2回(春・秋)発行される同盟の理論誌です。最新号が今月出版されました。

購読ご希望の方(定期購読大歓迎)は関根までご連絡ください。

治安維持法と現代

2021
春季号
No.41

日本学術会議任命拒否と反憲法政治
戦前のもう一つの学問統制・学問動員

小沢 隆一
荻野富士夫

『新自由主義』とコロナ・パンデミック 友寄 英隆
3・11大震災から10年、福島は 伊東 達也
管内閣の防衛政策をつく 半田 滋
没後70年、治安維持法下の宮本百合子 澤田 章子
澤田 雪子

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟 編

A5判 152頁 定価 1000円

目次から主な内容を紹介します。

巻頭論文

日本学術会議任命拒否と反憲法政治

戦前のもう一つの学問統制・学問動員

拷問の時代を終わらせるために

情勢学習コーナー

菅政権の防衛政策をつく

福島の実状と復興の課題

基礎学習コーナー

「新自由主義」とコロナ・パンデミック

ジェンダー・ギャップ指数と日本社会の課題

エッセイ

戦前の映画分野の弾圧の歴史は、悪法「映画法」 羽瀨 三良

没後70年 治安維持法下の宮本百合子 澤田 章子

島崎こま子の第二の人生―炎のように生きて 山本 隆

研究報告

浅野晃『幻想詩集』を読む

―伊藤千代子への思いと救済を求めて― 入谷 寿一

その他、抵抗の群像の掘り起こし、各地の同盟活動の経験が掲載され、会員の活動の糧となるものばかりです。

小沢 隆一

荻野富士夫

前田 朗

半田 滋

伊東 達也

友寄 英隆

清末 愛砂